

(様式20)

火薬庫工事設計明細書 (移動式2級火薬庫)

1 火薬庫の位置及び付近の状況は別図による。

2 保安物件との距離

(1) 最大貯蔵量 (規則第20条第2項の規定を計算式で明示すること。)

$$\begin{array}{l}
 \text{爆薬庫} \frac{\text{( )}}{10} + \frac{\text{( )}}{20} + \frac{\text{( )}}{\text{( )}} \div \text{( )} \leq 1 \\
 \text{火工品庫} \frac{\text{( )}}{10,000,000} + \frac{\text{( )}}{\text{( )}} \div \text{( )} \leq 1
 \end{array}$$

(2) 爆薬換算による貯蔵量 (規則第1条の6の規定を計算式で明示すること。)

$$\begin{array}{l}
 \text{爆薬庫} \frac{\text{( )}}{1} + \frac{\text{( )}}{2} + \frac{\text{( )}}{\text{( )}} = \text{( ) トン} \\
 \text{火工品庫} \frac{\text{( )}}{1,000,000} + \frac{\text{( )}}{\text{( )}} = \text{( ) トン}
 \end{array}$$

(3) 爆薬庫又は火工品庫から保安物件までの保安距離は下記の事項及び付近の状況図による。

保安物件の種類 (法定距離)	爆 薬 庫		保安物件の種類 (法定距離)	火 工 品 庫	
	保安物件名	方角及び距離		保安物件名	方角及び距離
第 1 種 ( m)			第 1 種 ( m)		
第 2 種 ( m)			第 2 種 ( m)		
第 3 種 ( m)			第 3 種 ( m)		
第 4 種 ( m)			第 4 種 ( m)		

(注) 保安物件が当該事業用施設である場合は当該保安物件にその旨併記すること。

3 火薬庫の構造及び設備

(1) 火薬庫、防火設備及び警戒設備並びに警鳴装置等の全体設置計画は火薬庫施設設置図による。

(2) 火薬庫相互間距離

$$\text{爆薬庫 ( トン} = \text{ m)} \cdot \text{火工品庫 ( トン} = \text{ m)}$$

(3) 火薬庫の構造等は下記の事項並びに正面図、平面図、側面図、断面図、基礎図、小屋組図、建具図、その他建築構造各部の名称説明図による。

項 目		爆 薬 庫	火 工 品 庫
軽量型鋼系プレハブの形式		〔 フレーム 耐力 <sup>パ</sup> ネル パ <sup>ネ</sup> ル・壁 形・ボックス形 〕	〔 フレーム 耐力 <sup>パ</sup> ネル パ <sup>ネ</sup> ル・壁 形・ボックス形 〕
基 礎	周 囲 の 布 基 礎	構 造 (鉄筋コンクリート・無筋コンクリート)	(鉄筋コンクリート・無筋コンクリート)
		ア ン カ ー ボ ル ト ( 箇所・直径 mm)	( 箇所・直径 mm)
礎	通 気 孔	金網張り	金網張り
		直径 間隔 パンチング 鉄棒( m/m・ m/m)・メタル方式	直径 間隔 パンチング 鉄棒( m/m・ m/m)・メタル方式
内 部 の つ か 石		別図のとおり	
骨 組	土台のアンカー ボ ル ト	(直径 mm・ 個)	(直径 mm・ 個)
	柱、梁桁、合掌 も や 等	軽量型鋼とし、外部にボルト、ナット類 を表さないよう施工する。	軽量型鋼とし、外部にボルト、ナット類 を表さないよう施工する。
床 の 板 張 り		厚さ ( mm)、鉄部を表さない	厚さ ( mm)、鉄部を表さない
外 壁 ( 妻 壁 共 )	外 部	構 造 (鉄板張り・耐力パネル・ )	(鉄板張り・耐力パネル・ )
		厚 さ ( mm)	( mm)
部	内 部	固 定 方 法 (溶接・ボルト締め・ )	(溶接・ボルト締め・ )
		構 造 (耐水ベニヤ板張り・ )	(耐水ベニヤ板張り・ )
共	換 気 孔	厚 さ ( mm)	( mm)
		固 定 方 法 (釘打・接着剤・ )	(釘打・接着剤・ )
内 外 部 の 空 間		断熱材 ( )	断熱材 ( )
換 気 孔		( 箇所)・〔 パンチング <sup>パ</sup> 金網張り・メタル方法 〕	( 箇所)・〔 パンチング <sup>パ</sup> 金網張り・メタル方法 〕
内 壁		ベニヤ板張り	ベニヤ板張り
小 屋 組	外 部	構 造 (鉄板張り・平スレート葺)	(鉄板張り・平スレート葺)
		厚 さ ( mm・井 )	( mm・井 )
		取 付 方 法 (釘打・溶接・ )	(釘打・溶接・ )
	内 部	耐水ベニヤ板張り、厚さ ( mm)	耐水ベニヤ板張り、厚さ ( mm)
屋 根 パ ネ ル		(耐水ベニヤ板張り・耐力パネル)	(耐水ベニヤ板張り・耐力パネル)
た る 木、野 地 板 等 は 木 製 と す る。		た る 木、野 地 板 等 は 木 製 と す る。	た る 木、野 地 板 等 は 木 製 と す る。
盗 難 防 止	取 付 場 所	(屋根裏・天井裏)	(屋根裏・天井裏)
	金 網	(太さ 番線、網目 mm)	(太さ 番線、網目 mm)
	固 定 方 法	ステーブル止め	ステーブル止め

天井	材	料	ベニヤ板張り	ベニヤ板張り	
	換	気	孔	( 箇所)・金網張り	( 箇所)・金網張り
出入口の		枠の			
外壁	本体	構	造	片開・鉄板張り (厚さ mm)	片開・鉄板張り (厚さ mm)
		寸	法	(高 mm×巾 mm×厚 mm)	(高 mm×巾 mm×厚 mm)
		枠	の 覆い	3周共 ( mm)	3周共 ( mm)
(耐火)	角	長	さ、数	( mm)・( 箇所)	( mm)・( 箇所)
		取	付 方法	(電気溶接・ )	(電気溶接・ )
扉	錠	種	類	(シリンダー本締錠・ )	(シリンダー本締錠・ )
		取	付 数	鍵ちがいの錠、( 箇所)	鍵ちがいの錠、( 箇所)
		ロ	ッド 棒		
内扉	構	造	1 本 引、木製板戸	1 本 引、木製板戸	
	寸	法	(高 mm×巾 mm×厚 mm)	(高 mm×巾 mm×厚 mm)	
	レール、戸車、	引手の使用材料			
	錠	〔シリンダー本締引戸用鎌錠・〕		〔シリンダー本締引戸用鎌錠・〕	

(4) 警鳴装置の構造等は下記の事項並びに電気配線図、仕様書及び設置図による。

項 目		警 鳴 を 発 す る 装 置	警 報 を 発 す る 装 置	
メーカー及び型式				
設 置 場 所		(火薬庫の外壁・付近 ( ))	(自宅・守衛室・代理人・その他)	
本 体	外 函	鉄板製、厚さ ( mm )	鉄板製、厚さ ( mm )	
	錠 の 種 類			
	開防 口護 部措 の置	雨、雪の 侵入		
		虫等の侵入		
		回路への外 部接触		
警報部への 外部接触				
警 報 器	種 類	(サイレン、フッサー、スピーカー、ベル)	(サイレン、フッサー、スピーカー、ベル)	
	警報等の始動、音量	扉 (開放・振動)、( ホーン)	扉 (開放・振動)、( ホーン)	

回路	庫内電流	爆薬庫 (            アンペア) 火工品庫 (            ミリアンペア)	
	切断対策	(警鳴を発する・金属管の保護)	(警報を発する・金属管の保護)
	保安装置	避雷器、ヒューズ (            ミリアンペア)	避雷器、ヒューズ (            アンペア)
	テスト装置	スイッチ式	スイッチ式
電源	電池(電圧の消耗状況)	(メーター・表示灯)	(メーター・表示灯)
	交流(停電時の措置)	予備電池に自動切換え	予備電池に自動切換え

(5) 防火設備及び警戒設備は下記の事項並びに施設設置図による。

項目		爆薬庫	火工品庫
防設 火備	防火用空地	巾 (            m)	巾 (            m)
	貯水槽	(            トン×            槽)	(            トン×            槽)
警設 戒備	警戒札の種類		
	夜間点灯装置	有(施工図及び設置図による)・無	有(施工図及び設置図による)・無

#### 4 貯蔵上の取扱い

- (1) 最高最低寒暖計を爆薬庫内に設置する。
- (2) 火薬類の積載は下記の事項及び別図による。  
火薬類の最大積載量(外装の寸法による計算式を明示すること。)  
爆薬庫  
火工品庫
- (3) その他の取扱いは火薬類取締法施行規則第21条の規定による。

#### 5 年間貯蔵予定量

爆薬庫 (            トン) + 火工品庫 (            トン) = (            トン)

#### 6 火薬類取扱保安責任者の選任予定(別添保安手帳の写しによる。)

項目	氏名(年令)	免状の種類	保安手帳番号
取扱保安責任者	(            才)	種取扱免状	
同代理人	(            才)	種取扱免状	

- (2) 選任届書(免状の写し、履歴書及び選任同意書を添付し、保安手帳を持参します。)は火薬庫完成届書と同時に提出します。

#### 7 火薬庫竣工予定

年    月    日